

【追悼】

大坪久子先生の女性研究者支援への想い —共同研究を通して—

河野銀子

九州大学男女共同参画推進室 教授

7月30日、複数のメールで大坪久子先生のご逝去を知りました。仙台から山形に戻るバスの車中でしたが、涙があふれて止まらなくなりました。

大坪先生はゲノム動態等を専門とする理系研究者で、私は教育や科学技術政策を対象とするジェンダー研究者。大坪先生が九州大学薬学部に入學された年、私はまだ生まれていませんでした。研究分野も世代も大きくかけ離れていて普通なら出会うはずのない大坪先生と初めてお会いしたのは、小川眞里子先生（現・三重大学名誉教授）代表の科研費（JSPS 25360043 [1]）の研究会でのことでした。小川先生をはじめ、女性研究者問題を研究するにあたって、文系だけ、理系だけということでは研究も政策も進展しないと考えていた共同研究に大坪先生を迎えたことで、研究は飛躍的に発展することになりました。異質な者同士の出会いの重要性を実感したものです。ソウルで開催されたジェンダー・サミット6にもご一緒し、また韓国・台湾との共同研究の成果を投稿する際にも随分とお世話になりました [2]。

その後、2016年度から筆者が代表で取組んだ女性研究者支援政策の国際比較をテーマとする共同研究（JSPS 16H03324）にもメンバーとして入っていただきました。欧州の科学技術とジェン

ダーに詳しい小川先生と、米国の女性研究者支援の実態と政策に詳しい大坪先生が多くの情報を提供してくださったおかげで、研究代表者の能力をはるかに超えるインパクトある研究プロジェクトとなりました。大坪先生はご自身の米国のお知合いを次々と紹介してくださって、直接お話をうかがうことができました。政策立案や決定過程には公的な記録としては残らない議論や交渉、妥協等が多くあるため、関係者にインタビュー調査を行って掘り下げることができたのはきわめて重要なことでした。

こうして研究会を通じてお世話になったのは、10年ほどになりますが、この間、科学技術・学術界のジェンダー平等推進に向けたほとぼしる情熱と行動力に、魅了され続けていました。実のところ、研究会のメンバーと「パワフルすぎてついていけない」とこぼすこともあったほどですが、最終的に『女性研究者支援政策の国際比較』（明石書店、2021）として纏めることができました。出版をととても楽しみにされていたのに、私の事情で科研費終了後に取り掛かることになってしまい、ご心配をおかけしましたが、病魔と向き合いながらも熱い筆を走らせてくださいました。

周知のことと思いますが、大坪先生は男女共同

参画学協会連絡会でも中心にご活躍され、大規模アンケートに基づく調査結果をエビデンスとして政策提言も行ってこられました。連絡会を通じた活動は、政策のみならず、人文社会科学系の学協会にも影響を与えたと思います。「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」(GEAHSS 略称ギース)のホームページ [3] を見ると、自然科学系の先んじた動きに触発されて会が成立したと記載されているのがわかります。また、先生は「無意識のバイアス」のリーフレットや「人事あるあるビンゴ」等、ツールの開発にも熱心で、ジェンダーに関心のない人々を巻き込む方を常に考えて行動されていたことが強く印象に残っています。

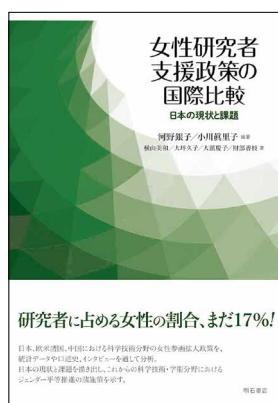
大坪先生との主たる思い出は研究会にあります。研究会以外のことでも有益な情報をくださったり、ご助言をくださったり、面倒見のよい方でした。国内外の多くの仲間や弟子がいるにもかかわらず、新しい知人程度にすぎない私のことまで気にかけてくださっていたことに感謝しています。理路整然として、綺麗ごとの激励や根拠のない称賛を含まない先生の言葉は、自分が考えなくてはならないことを整理したり、優先すべきは何かを検討する際に大いに助けとなりました。たいへんはすぐに返信をくださるのに少し間が空き始めたのは春以降だった気がします。それでもパリッとした文面のメールがきていました。しかしながら、訃報に接することとなりました。

翌7月31日付で、九州大学男女共同参画推進室教授の選考結果を受け取りました。九州大学のことをよく話されていた先生にいちばんに伝えたかったのですが、叶いませんでした。もうひとつ、今年9月に澤柳記念DEI賞 [4] を受賞したこと

もお伝えしたかったです。大坪先生は第2回澤柳記念賞 [5] を受賞されています。その頃とは少し趣旨が変わったようですが、大坪先生のあとに続くことができたことをこの上なく光栄に思うとともに、賞の重みに恥じないしごとをせねばと心に誓った次第です。

大坪先生はいなくなりましたが、先生の想いは全国各地の後進が受け継ぐことでしょう。その一人として、女性研究者の実態や支援政策の研究を続けていきたいと思っています。それが、

私にできる何よりの恩返しだと思いますし、先生も喜んでくれるに違いありません。心より大坪先生のご冥福をお祈り申し上げます。



河野銀子 / 小川眞里子 編著
横山美和 / 大坪久子 / 大濱慶子 / 財部香枝 著
『女性研究者支援の国際比較：日本の現状と課題』
(明石書店、2021年)

[注]

- [1] <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-25360043/>
- [2] *International Journal of Gender, Science and Technology, Vol.9, No.1.* (2017) (<https://genderandset.open.ac.uk/index.php/genderandset/article/view/409>) に掲載された。
- [3] <https://geahssoffice.wixsite.com/geahss/geahss>
- [4] <https://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyosawayanagi/sawayanagi.html>
- [5] <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/09/press20150925-04.html>